

長久手市行政評価票

事業番号	91	事業の名称	適応指導教室事務	担当部署	部	課
					教育文化部	教育総務課

事業の目的・概要	(目的) 不登校児童生徒を対象に、集団生活への適応を促し学校への復帰を支援する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	ほとんどの自治体で実施
	(概要) 不登校児童生徒を対象に、集団生活への適応を促し学校への復帰を支援するとともに、関連の相談活動等を行う。		

事業期間	事業開始年度	平成13年度	終了(予定)年度	———	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市立の学校に通学する小中学生				うち	一般財源	4,931	4,842	5,342	5,014	5,332													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	学校へ復帰してもらおう。					国費・県費																		
						地方債																		
						受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)		意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果		成果指標の目標値 設定の根拠	事業費(単位:千円)			評価 成果 事業費	評価の説明		
		手段					単位	H23実績		H24実績	H23予算	H23決算			H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)
		4月~	7月~													
① 適応指導教室事務	長久手市立の学校に通学する小中学生	随時	随時	学校へ復帰してもらおう。	適応指導教室における指導	学校への復帰	1 3 1	人	不登校児童生徒の学校への復帰が事業の最大の目的であるため。	4,931 5,342 5,332	4,842 5,014	5,014	適応指導教室指導員報酬4,164、消耗品149	A 維持 維持	現行どおり実施していく。	
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要